

# 法人概要・これまでの活動

一般社団法人 TEN-SHIPアソシエーション

“ささはた”のまちで縁をつなぐ

**TEN-SHIP**  
ASSOCIATION

2023年4月

## 1. 法人概要

### 法人概要

---

団体名	一般社団法人TEN-SHIPアソシエーション
住所	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目30番14号
設立年	2019年
役員	代表理事：戸所 信貴 理事：古屋 武彦 理事：青木 徹 理事：左京 泰明
運営メンバー	医療福祉の専門職（医師、看護師、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネージャーなど）、地域のボランティア
協力団体	十号通り商店街（振）/笹塚十号坂商店街（振）/ささはたカフェ運営委員会/（株）TAKUMIDAY CARE/帝京短期大学/ヒューマンケアクラブストライド/ぷくぷくケアプランセンター/福祉作業所ふれんど/笹幡高齢者在宅サービスセンター

## 1. 法人概要

### 代表理事略歴



#### 戸所 信貴（とどころのぶたか）

- ・ 一般社団法人TEN-SHIPアソシエーション 代表理事
- ・ 十号通り商店街 理事
- ・ 社会福祉士
- ・ 主任介護支援専門員
- ・ ハートバレーしづや 地域開拓コーディネーター
- ・ 笹塚地区見守りサポート協力員
- ・ 笹塚小学校学校運営協議会 委員

#### これまでの経緯

～2007年  
建築設計  
・ 施工会社

2007年～2019年  
渋谷区笹幡地域包括  
支援センター

2019年～  
一般社団法人TEN-SHIPアソシエーション

2015年～  
コミュニティカフェ（ささはたカフェ）

2020年～  
まちのお手伝いマネージャー

## 1. 法人概要

### 法人設立の趣旨

---

#### 地域包括支援センターでの経験

- レジでの「ありがとうございました。」の一言が、誰かとかわす唯一の会話という人。
- 部屋の天井まで山のようにゴミや荷物が積み上げられた中に暮らす人。
- 認知症になっても、ボコボコになった車を、家族の制止を振り切って運転してしまっている人。
- 精神障害のある息子から、お金の無心をされ、暴力を振るわれる母親。
- ライフラインも止まり、真っ暗な部屋の中、排泄物だらけで横たわる人。
- 近隣からの異臭の通報によって「孤独死」として発見される人。



公的制度の対象にならない・支援の手が届かないことで、  
「希望＝生きる意欲」を諦めざるを得ない人たちに会ってきた。

## 法人設立の趣旨

---

### 後悔しないよう、やれることをやりたい。

- これまでにお会いしたどの方々も、以前は社会や家庭の中で役割や誇りを持ち、自分らしく、いきいきと生活してきた人たち。
- しかし、生活上の課題を抱えつつも、社会にその受け皿がなかったり、支援を受けることへの抵抗があったり。あるいは社会的な偏見から、希望（生きる意欲）を諦めざるを得ない状況にある人たちが、地域にたくさんいる。
- 地域包括支援センター職員として向き合うだけではなく、コミュニティカフェの運営をはじめ、「何かできることをやっていきたい」。

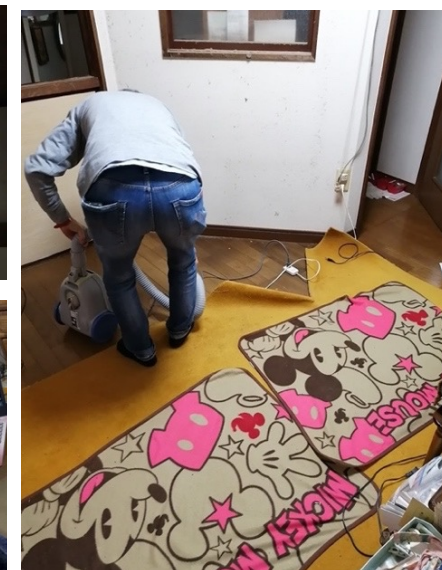


生活上の課題を抱えていても、地域で暮らし続けることができるように。  
その人の課題を、地域ぐるみで受けとめ、解決に向け取り組めるように。  
希望をなくすことのない地域づくり。

## 2. これまでの活動

### ①日常の中の生活の困りごとサポート（まちのお手伝いマネージャー）

- 笹塚十号通り商店街事務所を起点に、近隣に暮らす高齢者等からの相談に対応（商店街での買物配達、部屋の清掃、家具修理、スマホ相談など）。
- 商店街、福祉関係団体、ボランティアの協力を得て、2020年度より実施。



## 2. これまでの活動

### ①日常の中の生活の困りごとサポート（まちのお手伝いマネージャー）

---

#### 【ちょっとした困りごとサポート例】

- 部屋の片付け
- 電球交換
- エアコン清掃
- 粗大ゴミ搬出
- 草むしり、庭木の剪定、植物の水やり
- パソコン、スマホの使い方サポート
- 介護制度などの案内
- 通院の付き添い
- 定期的な安否訪問
- 外出同行（買い物、散歩）
- 家具の修理（ドア、網戸、本棚、襖）
- 蜂の巣駆除
- アパート探しの手伝い
- 電気工事等の立ち合い …など

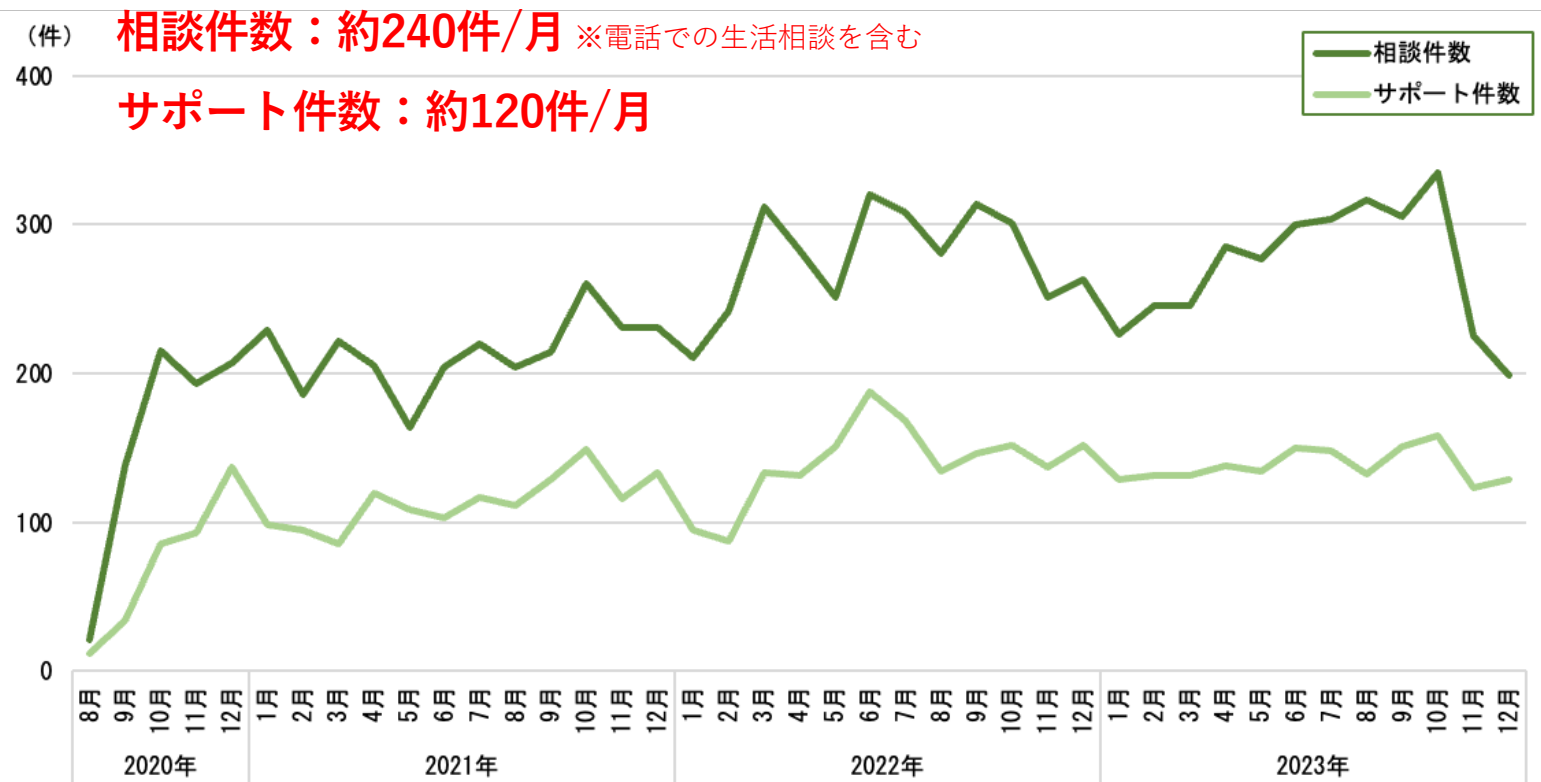
#### 【専門性の高いサポート例】

- 一人の高齢者の見守り①
  - 顔に怪我をして商店街を歩いていた
  - 家族からの暴力を受けている人
  - 包括と商店街と連携し継続見守り
- 一人の高齢者の見守り②
  - 話を聞いてほしいという相談
  - 他の窓口にも何かと相談している人
  - 地域福祉コーディネーターと連携し継続見守り
- 高齢者と家屋の見守り
  - 電気が切れたと相談
  - 行ってみたら家が半壊状態
  - 包括と連携し継続見守り

## 2. これまでの活動

### ① 日常の中の生活の困りごとサポート（まちのお手伝いマネージャー）

- 相談件数の約7割は本人からの直接相談。
- 約3割は本人以外（地域包括支援センター、ケアマネージャー、成年後見人、商店街など）からの間接的な相談。



## 2. これまでの活動

### ②個別訪問によるアウトリーチ

- 行政等の支援が届かず、複合的な課題を抱える世帯を定期的に訪問。
- もう一人の家族としての信頼関係を築くことで、課題解決の糸口を探す。

#### 【ケース1】

80代の母親は認知症、50代の娘は統合失調症、20代の孫は知的障害を抱える。貧困や就労問題などの課題も抱えている。

#### 【ケース2】

奥さまに先立たれた、一人暮らしの80代男性。子供や親族はおらず、孤独や貧困、人間不信といった課題を抱えている。

#### 【ケース3】

80代の母親は認知症、50代の息子は引きこもり状態でアルコール依存症。母親に対し息子が暴力を振るうときがある。

### ③関係団体との意見交換会の開催

- 「様々な事情から、行政等の支援の対象に含まれず（制度の狭間）、課題を抱えたまま深刻な状態に置かれている世帯に対し、どのような仕組みやサポートが必要か」について、関係団体を交え意見交換する場（制度の狭間検討会）を継続的に開催。

## 2. これまでの活動

### ④地域共生のまちづくり活動

- 商店街、大学、企業、NPOなどと連携した各種活動の実施。
  - ・ コミュニティカフェの運営
  - ・ 大学と連携したスマホ教室、草むしり隊などの企画
  - ・ 駅前広場の管理運営、駅前広場マルシェの企画運営
  - ・ 福祉施設と連携した高齢者の商店街買い物ツアーの企画運営

…など



## 2. これまでの活動

### ⑤ 「笹塚十号のいえ」の企画運営（背景）

---

**都会に居場所がなく、孤立してしまっている人たちがいる。  
駅前商店街に、誰でもふらっと立ち寄れる場所をつくりたい。**

貧困、疾病、認知症、障がい、介護などの複合的な課題を抱え、  
対応する支援機関がはっきりせず、必要な支援が届いていない人たちがいます。

渋谷区では2023年より、地域全体で分野を問わない横断的な支援体制を整備する  
「重層的支援体制整備事業」が始まりました。

しかし、事業が始まって、行政に対し「助けてほしい」と言いにくいこともあります。

民間の立場で、行政の仕組みをどう補完することができるか。

考えたのは、「支援を受けたい人」と「支援をする側」が、

近所の“おとなりさん”のように毎日顔を合わせる中で、

信頼関係を築きながら抱える課題の把握や相談対応（アウトリーチ）を行い、

行政や関係機関に相談するまでのステップを構築することでした。

そこで、日々多くの人が行き交う笹塚十号通り商店街に、

民間主体の地域福祉の居場所として「笹塚十号のいえ」を開設することにしました。

## 2. これまでの活動

### ⑤ 「笹塚十号のいえ」の企画運営（概要）

- 商店街の空き店舗を活用し2024年2月よりスタート（毎週火曜／木曜／土曜の11:30～18:30）。
- 趣旨に賛同する団体や企業と連携し運営。気軽に立ち寄れる居場所（コミュニティカフェ）として運営するほか、関係団体と連携したプログラムの開催（例：フードパントリー、生涯学習プログラム）、課題を抱える世帯の相談対応などを実施。



“ささはた”のまちで縁をつなぐ

**TEN-SHIP**  
ASSOCIATION